



SHIONOGI
140th
Anniversary



2017年度 決算

(2017年4月～2018年3月)

2018年5月9日

塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功



本日のアジェンダ



- 1. 2017年度 決算の概要 (P.3-12)**
- 2. 2018年度 ビジネスプラン (P.13-21)**
- 3. 株主還元について (P.22-23)**

1. 2017年度 決算の概要

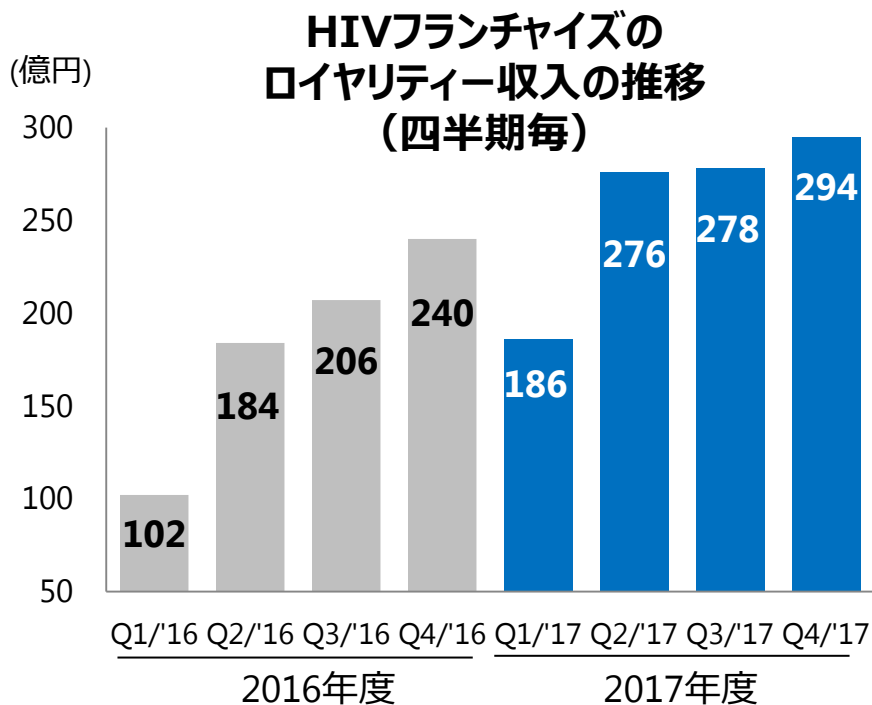
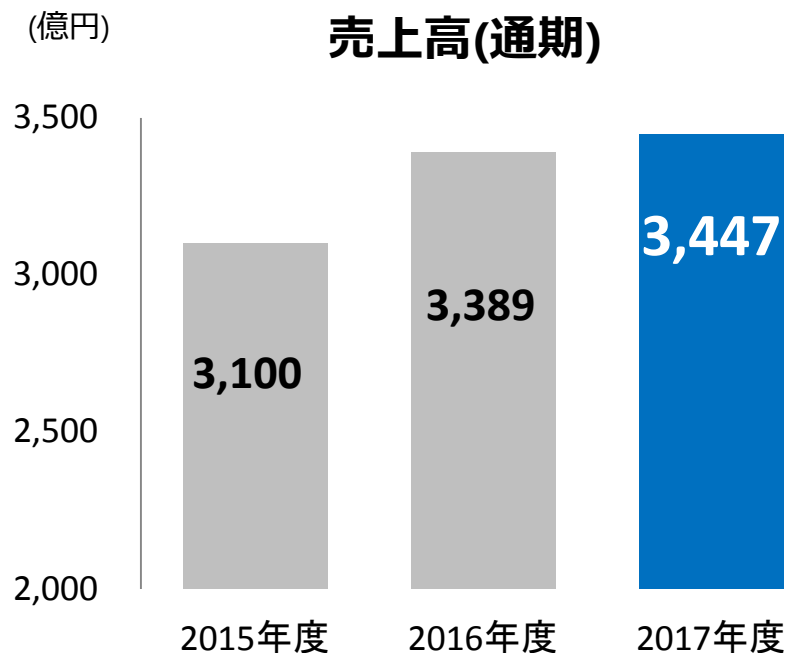
決算ハイライト① トップラインが継続的に成長

3年連続
増収

◆ 売上高： **3,447億円** (対前年 +1.7%)

HIVフランチャイズに関する

◆ ロイヤリティー収入： **1,035億円** (対前年 +41.2%)



決算ハイライト②

各利益はいずれも1,000億円を超える過去最高



◆ 営業利益： **1,152億円** (対前年 +6.5%)

3年連続
過去最高

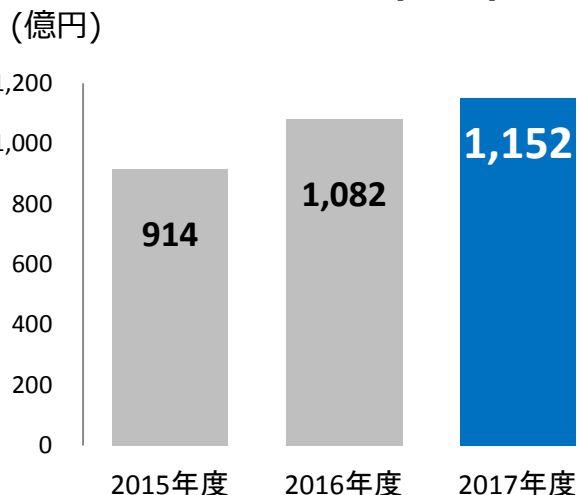
◆ 経常利益： **1,387億円** (対前年 +12.7%)

6年連続
過去最高

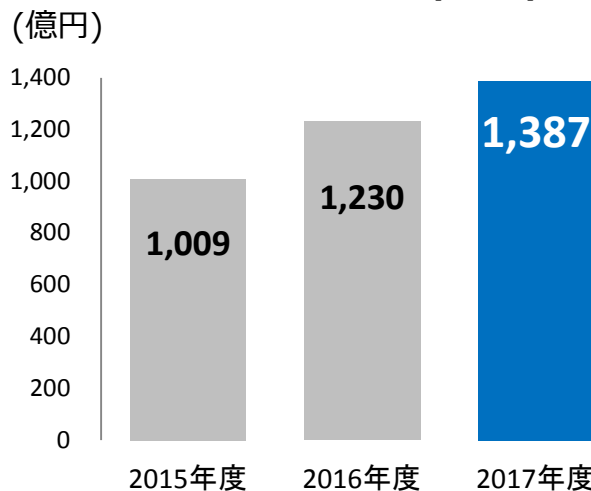
◆ 親会社株主に帰属する
当期純利益： **1,089億円** (対前年 +29.8%)

2年連続
過去最高

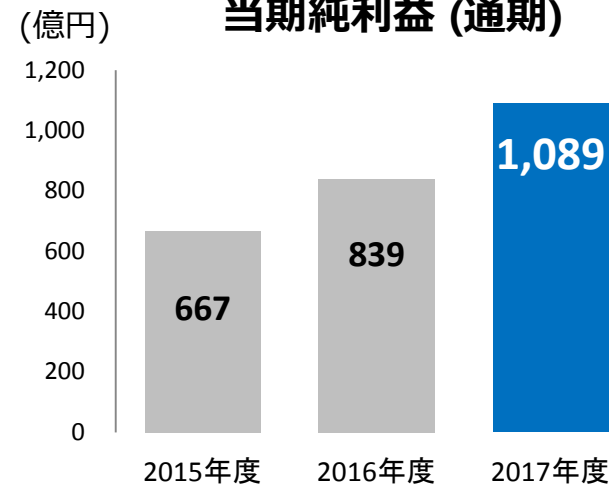
営業利益 (通期)



経常利益 (通期)



親会社株主に帰属する 当期純利益 (通期)



連結経営成績



(単位：億円)

	2017年度			対修正予想 達成率	2016年度	対前年	
	通期予想 (当初*)	通期予想 (修正**)	通期実績		通期実績	UP率	増減額
売上高	3,400	3,450	3,447	99.9%	3,389	1.7%	58
営業利益	1,125	1,135	1,152	101.5%	1,082	6.5%	70
経常利益	1,235	1,320	1,387	105.1%	1,230	12.7%	157
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	1,010	1,089	107.8%	839	29.8%	250

- 当期純利益は初めて
1,000億円を突破
- 各利益項目はいずれも
過去最高を更新

為替レート (期中平均)	2017年度 前提	2017年度 実績
ドル	110円	110.86円
ポンド	140円	146.96円
ユーロ	120円	129.68円

損益計算書



(単位：億円)

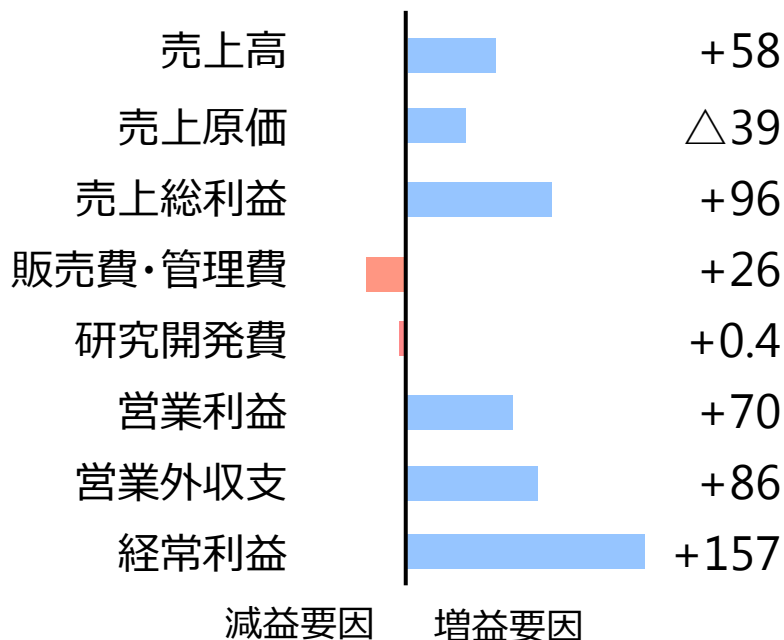
	2017年度			対修正予想 達成率(%)	2016年度	対前年	
	通期予想 (当初*)	通期予想 (修正**)	通期実績		通期 実績	UP率 (%)	増減額
売上高	3,400	3,450	3,447	99.9	3,389	1.7	58
	22.5	22.2	21.4		23.0		
売上原価	765	765	739	96.6	778	△5.0	△39
売上総利益	2,635	2,685	2,708	100.8	2,611	3.7	96
販売費・ 一般管理費	1,510	1,550	1,555	100.3	1,529	1.7	26
	29.1	29.0	27.7		27.5		
販売・管理費	990	1,000	956	95.6	930	2.8	26
	15.3	15.9	17.4		17.7		
研究開発費	520	550	599	109.0	599	0.1	0.4
	33.1	32.9	33.4		31.9		
営業利益	1,125	1,135	1,152	101.5	1,082	6.5	70
営業外収支	P110	P185	P235	-	P149	58.0	86
	36.3	38.3	40.2		36.3		
経常利益	1,235	1,320	1,387	105.1	1,230	12.7	157

前年比較および増減要因（損益計算書）

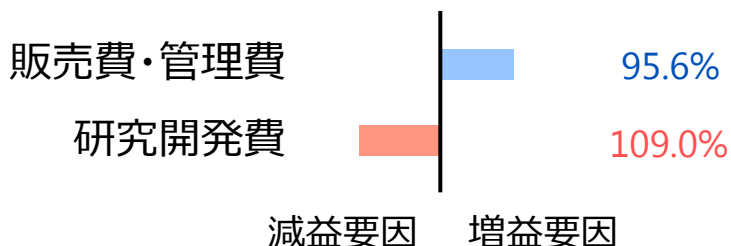


対前年比較

（単位：億円）



対修正予想比較



主な増減要因

- 売上高
 - 戦略品の売上増
 - HIVフランチャイズのロイヤリティー収入の増大
 - ゾフルーザ™に関するRoche社からの収入*
 - 想定以上のジェネリックの浸透による Crestor® の売上減
- 販売費・一般管理費
 - 販売費・管理費：前年比 +26億円
 - ▷ 新製品への先行投資
- 営業外損益
 - 受取配当金：HIVフランチャイズの売上拡大と ViiV社からの配当受領方法の変更

主な増減要因

- 売上原価率：対予想で0.8%改善
 - 製品ミックスおよびロイヤリティー収入の拡大
- 販売費・一般管理費：修正予想通りの進捗
 - 販売費・管理費：対予想 △44億円
 - 研究開発費：対予想 +49億円
 - ▷ ゾフルーザ™のグローバル開発への投資拡大

事業別売上高



(単位：億円)

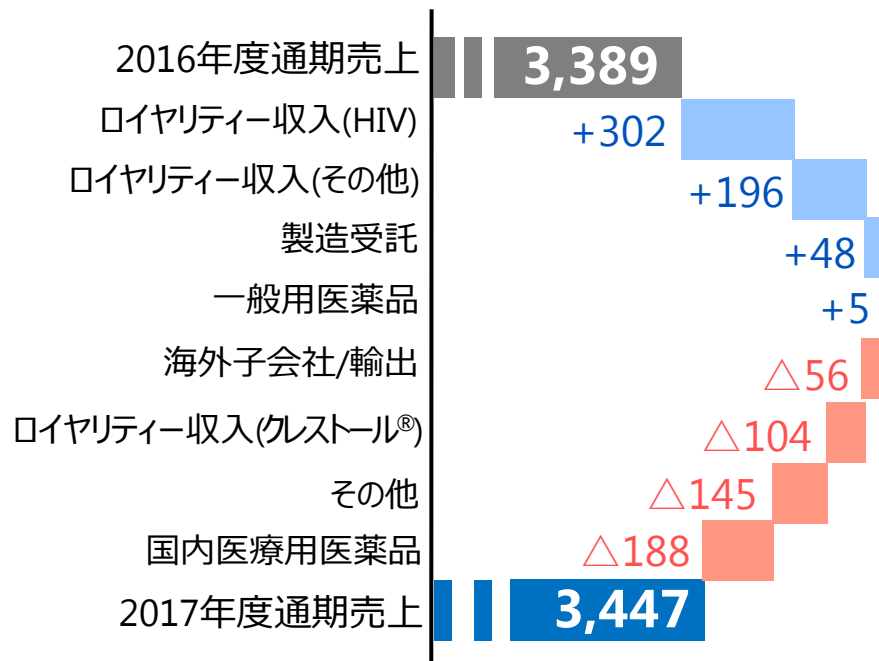
	2017年度		2016年度	対前年			
	通期予想 (当初*)	通期予想 (修正**)	通期 実績	対修正予想 達成率(%)	通期 実績	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,439	1,441	1,392	96.6	1,580	△11.9	△188
海外子会社 / 輸出	254	255	236	92.6	292	△19.1	△56
シオノギ Inc.	120	112	106	94.6	179	△40.7	△73
Osphena®	46	39	37	94.7	47	△22.2	△10
製造受託	153	154	169	110.1	121	39.8	48
一般用医薬品	75	70	72	103.5	68	6.7	4.5
ロイヤリティー収入	1,450	1,503	1,550	103.1	1,157	34.0	394
HIVフランチャイズ	1,030	1,033	1,035	100.2	733	41.2	302
クレストール®	220	225	226	100.4	330	△31.6	△104
その他	200	245	290	118.1	94	209.9	196
その他	29	27	26	97.4	171	△84.8	△145
合計	3,400	3,450	3,447	99.9	3,389	1.7	58

比較および増減要因（事業別売上高）

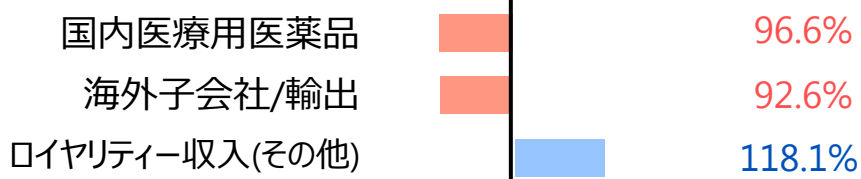


対前年比較

（単位：億円）



対修正予想比較



主な増減要因（対前年58億円増、1.7%増）

- ロイヤリティー収入
 - HIVフランチャイズの売上増
 - ソフルーザ™に関するRoche社からの収入*
- 製造受託：ドルテグラビル原薬の受託拡大
- 海外子会社/輸出収入
 - 米国事業におけるオーソライズドジェネリックのロイヤリティー収入の減少
- 国内医療用医薬品
 - 戦略品の売上増
 - 長期収載品の承継等による売上減
 - 想定以上のジェネリックの浸透によるクレストール®の売上減

主な増減要因（対修正予想△3億円、0.1%減）

- 国内医療用医薬品
 - 想定以上のジェネリックの浸透による売上減
- 海外子会社/輸出
 - 米国事業におけるオーソライズドジェネリックのロイヤリティー収入の減少
- ロイヤリティー収入(その他)
 - ソフルーザ™に関するRoche社からの収入*

国内医療用医薬品売上高



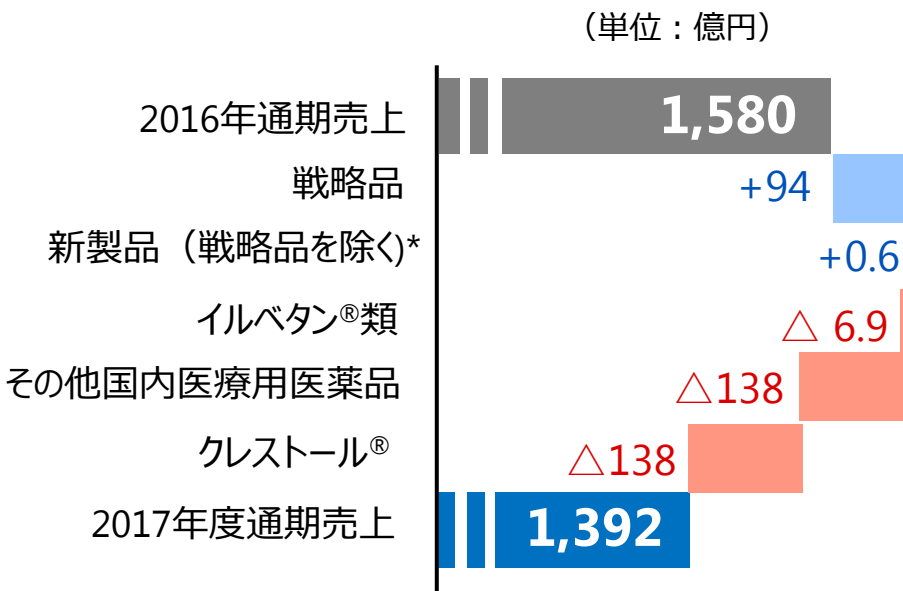
(単位：億円)

	2017年度			対修正予想 達成率(%)	2016年度		対前年	
	通期予想 (当初*)	通期予想 (修正**)	通期 実績		通期 実績	UP率 (%)	増減額	
サインバルタ®	253	260	235	90.6	190	23.7	45	
インチュニブ®	6.2	20	19	94.0	-	-	19	
スインプロイク®	3.8	6.0	6.0	99.9	-	-	6.0	
ゾフルーザ™	-	-	24	-	-	-	24	
戦略品 合計	263	286	284	99.5	190	49.5	94	
アシテア®	1.3	1.3	1.2	96.5	0.8	60.9	0.5	
ムルプレタ®	1.7	1.7	1.6	95.5	1.3	26.2	0.3	
ピレスパ®	60	60	65	108.3	58	10.4	6.1	
オキシコンチン®類	89	89	87	97.7	97	△10.2	△9.9	
ラピアクタ®	28	28	33	120.5	29	16.7	4.8	
ブライトポック®	9.3	9.2	11	122.1	10	14.1	1.4	
グラッシュビスタ®	6.9	3.1	3.0	95.6	5.5	△46.4	△2.6	
新製品 合計	458	477	486	101.9	391	24.2	95	
クレストール®	364	344	293	85.2	431	△32.1	△138	
イルベタン®類	148	148	146	98.5	153	△4.5	△6.9	
その他 国内医療用医薬品	469	472	468	99.1	605	△22.7	△138	
国内医療用医薬品	1,439	1,441	1,392	96.6	1,580	△11.9	△188	

比較および増減要因（国内医療用医薬品売上高）



対前年比較



主な増減要因

（対前年△188億円、11.9%減）

- 戦略品
 - サインバルタ®が疼痛領域を中心に順調に拡大
 - 新製品のインチュブ®、スインプロイク®、ゾフルーザ™が順調な立ち上がり
- その他国内医療用医薬品
 - 長期収載品の承継等による売上減
- Crestor®
 - 想定以上のジェネリックの浸透による売上減

対修正予想比較



主な増減要因

（対修正予想△49億円、3.4%減）

- Crestor®
 - 想定以上のジェネリックの浸透による売上減

2. 2018年度 ビジネスプラン

● 投資

- 持続的な成長をより確かなものにするため、
 - > 選択と集中により優先品目の研究開発を進展
 - > **同時に、新規パイプラインの導入**を積極的に検討

● 販売

- 稼ぐ力を強化し、「**新製品の売上を拡大**」



持続的な成長に向けて新たに投資を実施するとともに、
自らの力で利益を生み出すシオノギへと変革する一年

業績予想



(単位：億円)

	2018年度予想		2017年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,465	1,640	3,447	0.5	18
営業利益	1,190	445	1,152	3.3	38
経常利益	1,400	545	1,387	0.9	13
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,110	431	1,089	2.0	21

**2018年度も増収増益
を達成する**

為替レート (期中平均)	2018年度 前提	2017年度 実績
ドル	105円	110.86円
ポンド	145円	146.96円
ユーロ	130円	129.68円

2018年度の強化策/成長要因



	チャレンジ	強化策/成長要因
投資	次世代成長ドライバー育成	<ul style="list-style-type: none"> • 早期パイプラインへの優先投資による推進 • 持続的な成長に向けた戦略的事業投資
販売	<p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 薬価改定によるサインバルタ®をはじめとした薬価引下げ <p>【米国】</p> <ul style="list-style-type: none"> • オピオイド乱用問題によるSymproic®販売への影響 	<p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> • サインバルタ®、インフルエンザファミリー、ADHDファミリー、オピオイドファミリーの販売戦略に基づく売上拡大 <p>【米国】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Symproic®とOsphena®における戦略的事業提携のさらなる進化 • 新製品（Mulpleta®）の上市後のすみやかな立ち上げのための準備

持続的な成長に向けた戦略的事業投資



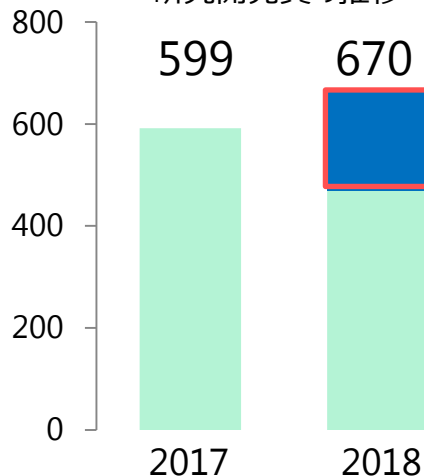
資源を集中投下してきたゾフルーザ™の開発が上期で一段落

投資のPhaseへ

研究開発費の使い方をシフトして、持続的な成長に向けて
パイプラインをさらに充足させるための新たな投資

(億円)

研究開発費の推移



2020年度以降に上市可能な**開発候補品の充足**や、**新規技術導入**などへの新規投資を前向きに検討
⇒ **戦略的事業投資** (約200億円)

トータルコストマネジメントを強化し、通常の研究開発費は前年度より減少させた上で、7プロジェクト*に資源を集中投下

**戦略的事業投資として、研究開発費に約200億円を
予算計上し、持続的な成長に向けた投資を前向きに検討**

損益計算書予想



(単位：億円)

	2018年度		2017年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期実績	UP率 (%)	増減額
売上高	3,465	1,640	3,447	0.5	18
	16.7	16.5	21.4		
売上原価	580	270	739	△21.5	△159
売上総利益	2,885	1,370	2,708	6.6	177
販売費・ 一般管理費	1,695	925	1,555	9.0	140
	48.9	56.4	45.1		
販売・管理費	1,025	525	956	7.2	69
	29.6	32.0	27.7		
研究開発費計	670	400	599	11.8	71
研究開発費*	470	250	599	△21.6	△129
戦略的事業投資	200	150	-	-	-
	19.3	24.4	17.4		
営業利益	1,190	445	1,152	3.3	38
	34.3	27.1	33.4		
営業外収支	P210	P100	P235	-	△25
経常利益	1,400	545	1,387	0.9	13
	40.4	33.2	40.2		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,110	431	1,089	2.0	21

事業別売上高予想



(単位：億円)

	2018年度		2017年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期 実績	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,193	523	1,392	△14.3	△199
海外子会社 / 輸出	298	136	236	26.2	62
シオノギ Inc.	109	50	106	2.9	3.1
Osphena®	41	21	37	12.0	4.4
C&O	124	58	69	80.1	55
製造受託	121	56	169	△28.7	△49
一般用医薬品	74	34	72	1.7	1.2
ロイヤリティー収入	1,755	878	1,550	13.2	204
HIVフランチャイズ	1,249	587	1,035	20.7	214
クレストール®	211	106	226	△6.6	△15
その他	295	185	290	1.7	4.9
その他	25	13	26	△4.5	△1.2
合計	3,465	1,640	3,447	0.5	18

国内医療用医薬品売上高予想



(単位：億円)

	2018年度		2017年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期 実績	UP率 (%)	増減額
サインバルタ [®]	260	121	235	10.5	25
インチュニブ [®]	50	19	19	165.2	31
ゾフルーザ [™]	130	13	24	439.1	106
ラピアクタ [®]	11	0.6	33	△66.4	△22
ブライトポック [®]	11	1.1	11	△6.0	△0.7
オキシコンチン [®] 類	91	42	87	4.7	4.0
スインプロイク [®]	12	4.8	6.0	95.6	5.7
戦略品 合計	564	203	416	35.8	149
アシテア [®]	1.5	0.6	1.2	23.8	0.3
ムルプレタ [®]	2.3	1.2	1.6	43.9	0.7
ピレスパ [®]	60	31	65	△7.6	△4.9
新製品 合計	628	235	486	29.2	142
クレストール [®]	97	53	293	△67.0	△196
イルベタン [®] 類	64	36	146	△56.0	△82
その他	404	199	468	△13.5	△63
国内医療用医薬品	1,193	523	1,392	△14.3	△199

通期予想について



売上高 (3,447→3,465)

(単位：億円)

前期実績	上期実績 1,722	下期実績 1,725	
当期予想	上期予想 1,640	下期予想 1,825	+18

クレストール®：前期上期220億
当期上期53億（予想）

ロイヤリティー
収入の拡大

インフルエンザファミリーの
売上が下期に集中

営業利益 (1,152→1,190)

前期実績	上期実績 558	下期実績 595
当期計画	上期予想 445	下期予想 745

戦略的事業投資
：上期150億円（予想）

+38

経常利益 (1,387→1,400)

前期実績	上期実績 656	下期実績 731
当期計画	上期予想 545	下期予想 855

+13

親会社株主に帰属する 当期純利益 (1,089→1,110)

前期実績	上期実績 503	下期実績 585
当期計画	上期予想 431	下期予想 679

+21

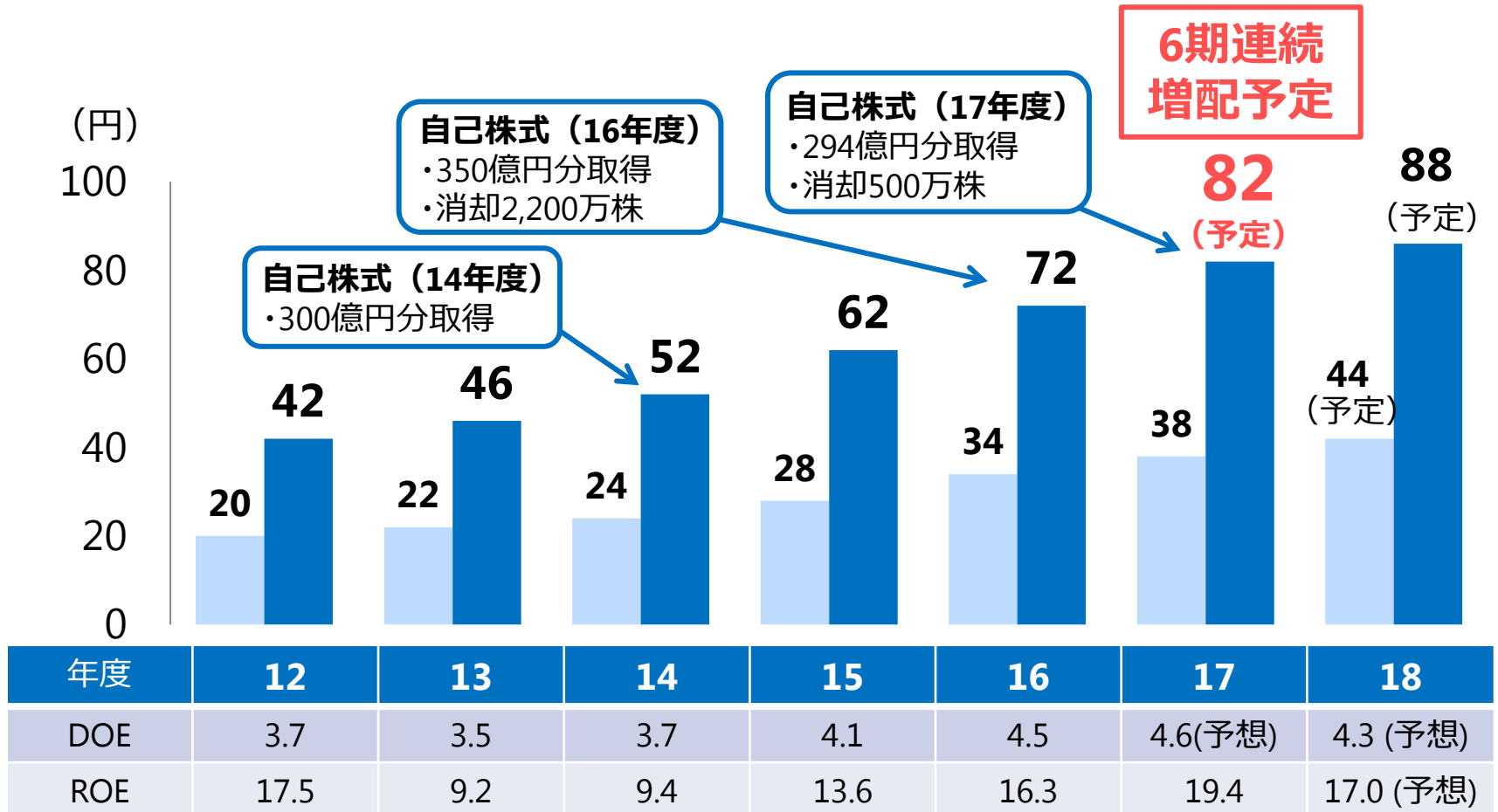
上期は減収減益を予想するが、通期では増収増益を達成する

3. 株主還元について

成長とともに実感していただける株主還元政策



株主還元、成長への投資、戦略的事業投資の
3つのバランスをとりながら、持続的な企業価値の最大化を図る





Appendix

KPI - 2017年度の結果 -



成長性 KPI

	2020年度 目標	2017年度 目標	2017年度 実績	2016年度 実績
新製品*売上	2,000億円	531億円	555億円	439億円
経常利益	1,500億円	1,320億円	1,387億円	1,230億円
ROIC**	13.5%以上	13.4%	14.9%	13.3%
CCC***	5.5ヵ月	6.3ヶ月	6.2ヵ月	6.7ヶ月
自社創薬比率	50%以上	50%以上	73.9%	68.2%
ROE	15.0%以上	16.3%	19.4%	16.3%
DOE	4.0%以上	4.3%	4.6% (予想)	4.5%

効率性 KPI

株主還元 KPI

KPI - 2018年度の目標 -



成長性 KPI

- 新製品*売上：**721億円** (2,000億円)
(対前年 +29.9%)
- 経常利益：**1,400億円** (1,500億円)

効率性 KPI

- ROIC：**14.5%以上** (13.5%以上)
- CCC：**6.1ヵ月** (5.5ヵ月)
- 自社創薬比率：**50%以上** (50%以上)

株主還元 KPI

- ROE：**17.0%以上** (15.0%以上)
- DOE：**4.3%** (4.0%以上)

括弧内は2020年度目標

新製品の拡大と主力品のジェネリック参入による影響

(単位：億円)

新製品および Crestol®、Ilbetan® 類	修正予想*	通期実績	主な増減要因
新製品(サインバルタ®等)の売上拡大	+86	+95	<ul style="list-style-type: none"> 戦略3品目は対前年で売上拡大 ゾフルーザ™が順調な立ち上がり
Crestol®、Ilbetan® のジェネリック参入による売上減	△92	△ 145	<ul style="list-style-type: none"> 想定以上のジェネリックの浸透による売上減
長期収載品等	修正予想	通期実績	主な増減要因
長期収載品(フロモックス®等)、ラピアクタ備蓄等の売上減少	△84	△ 88	<ul style="list-style-type: none"> 想定通りの進捗
長期収載品の承継(24品目の減少)	△49	△ 49	<ul style="list-style-type: none"> 想定通りの進捗
国内医療用医薬品	△ 139	△ 188	

Crestol® の想定以上のジェネリックの浸透による売上減を新製品の売上増でカバーし切れなかった

2017年度パイプライン進捗目標と実績 (2018年5月時点)



領域	開発品	2017年4月1日時点	2017年度目標
感染症	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症	米国：申請準備	米国：申請
	ゾフルーザ™/Xofluza™ インフルエンザウイルス感染症	グローバル：Phase III 日本：Phase III(小児)	日本：申請
疼痛 神経	インチュニブ® 小児ADHD	日本：承認	日本：発売
	スインプロイク® オピオイド誘発性便秘症	日本：承認	日本：発売
	Symproic® オピオイド誘発性便秘症	米国：承認	米国：発売
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本：申請	日本：承認
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本：申請	日本：承認
	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	日本：申請準備	日本：申請
	サインバルタ® うつ病・うつ状態(小児)	—	日本：Phase III
	S-600918 神経障害性疼痛	日本：Phase I	地域未定：Phase II
フロンティア疾患	Mulpleta® 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル：Phase III	米国、欧州：申請
	アシテア® 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)	日本：申請	日本：承認

2018年度の開発品の予定：承認・申請



開発品(適応疾患)	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認
Mulpleta® (血小板減少症)				米国 (2017.12) 欧州 (2018.1)	米国
Rizmoic® (オピオイド誘発性の便秘症)				欧州 (2017.3)	欧州
リスデキサンフェタミン (小児ADHD)				日本 (2017.4)	日本
Xofluza™ (インフルエンザウイルス感染症)			グローバル： 継続中	米国	米国
ゾフルーザ™ (インフルエンザウイルス感染症 (顆粒剤))			日本： 継続中	日本	
セフィデロコル (多剤耐性グラム陰性菌感染症)			グローバル： 継続中	米国	
インチュニブ® (成人ADHD)			日本： 継続投与試 験実施中	日本	

2018年度の開発品の予定：Phase I～III



開発品(適応疾患)	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認
ゾフルーザ™ (インフルエンザウイルス感染症 (予防投与))			アジア(日本・ 台湾)：開始		
オキシコンチン®TR (慢性疼痛における鎮痛)			日本：開始		
S-120083 (炎症性疼痛)		米国：完了			
S-588410 (膀胱がん)		日本・欧州： 完了			
S-600918 (神経障害性疼痛 or 難治性慢性咳嗽)		日本：開始			
S-770108 (特発性肺線維症)	日本：完了				
S-637880 (神経障害性疼痛)	日本：完了				
S-005151 (脳梗塞)	日本：開始				
S-004992 (結核)			アジア (中国)：開始		

パイプラインの状況 (2018年5月現在)



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
インフルエンザウイルス感染症	海外開発品	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症	Xofluza™ インフルエンザウイルス感染症	Rizmoic® (欧州) オピオイド誘発性便秘症
HIVウイルス感染症		S-004992* 結核	S-120083 炎症性疼痛	Mulpleta® (米国) 慢性肝疾患による血小板減少症
抗菌		S-117957 不眠症	S-707106 2型糖尿病	Mulpleta® (欧州) 慢性肝疾患による血小板減少症
抗菌		S-237648 肥満症	S-488210 頭頸部がん	
真菌感染症			epertinib 悪性腫瘍	
真菌感染症			S-588410 膀胱がん	
ペプチド医薬品				
予防ワクチン	国内開発品	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症	ゾフルーザ™ インフルエンザウイルス感染症 (顆粒剤)
ADHD		S-637880 神経障害性疼痛	S-237648 肥満症	インチュニブ® 成人ADHD
オピオイド		S-600918 神経障害性疼痛	S-525606 スギ抗原によるアレルギー性鼻炎	サインバルタ® うつ病・うつ状態(小児)
ペプチド医薬品		S-010887 神経障害性疼痛	S-588410 膀胱がん	S-588410 食道がん
アルツハイマー病				
糖尿病		S-770108 特発性肺線維症		
肥満症		S-005151* 脳梗塞		
肥厚性癩痕				
がん転移				
アジュバント				
ペプチド医薬品				

- 感染症
- 疼痛・神経
- その他

パイプラインの状況 (2018年5月現在)



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
アウトライゼンス	<p>GSK3342830 多剤耐性グラム陰性菌感染症</p>		<p>DTG+3TC HIV感染症 GEMINI試験 (未治療患者) TANGO試験 (維持療法)</p> <p>CAB 持続性注射製剤 HIV感染予防</p> <p>CAB+RPV 持続性注射製剤 HIV感染症</p> <p>Janssen/シオノギβセクレターゼ 阻害薬* アルツハイマー病</p>	<p>Osphena® 閉経後膣萎縮症に伴う膣乾燥感</p> <p>感染症</p> <p>疼痛・神経</p> <p>その他</p>

製品上市ターゲット



2017年度 (実績)	2018年度	2019年度
国内事業		
スインプロイク® インチュニブ® 小児ADHD オキシコドン 乱用防止製剤 アシテア®舌下錠 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ) ゾフルーザ™錠 (成人、小児)	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	インチュニブ® 成人ADHD ゾフルーザ™ (顆粒剤)
海外事業		
Symproic®(米国)	Mulpleta® (米国) Rizmoic® (欧州)	セフィデロコル(米国) Mulpleta® (欧州) Xofluza™ (米国) ゾフルーザ™ (台湾)
グローバル導出品		
Juluca® (DTG/RPV) (米国)	Juluca® (DTG/RPV) (欧州) Osphena®(米国) 閉経後膣萎縮症に伴う膣乾燥感	DTG + 3TC

新製品の定義（中期経営計画SGS2020のupdateより）



疼痛 神経

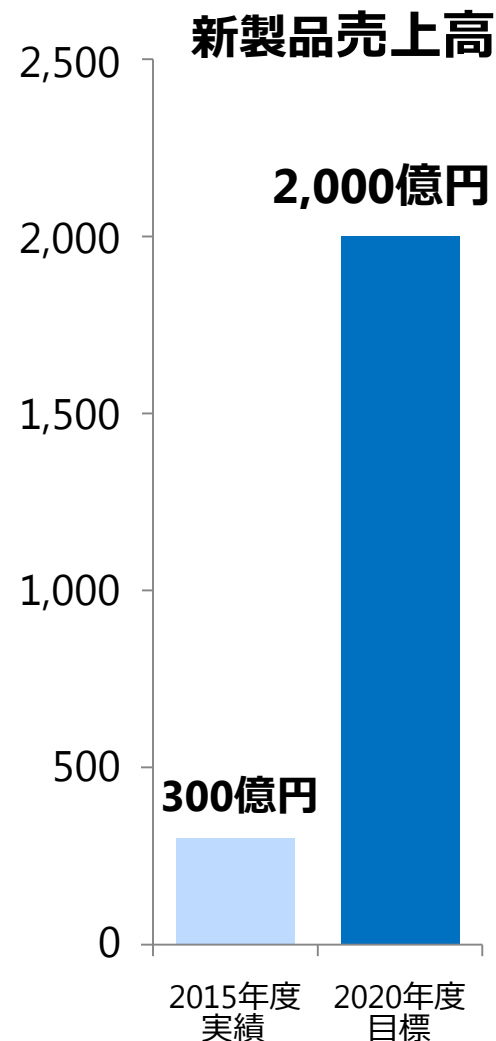
- サインバルタ®
- オキシドン乱用防止製剤、オキノーム®、オキファスト®
- ナルデメジン*
- インチュニブ®、リスデキサソフェタミン

感染症

- S-033188
- Cefiderocol
- ラピアクタ®、インフルエンザ診断キット

その他

- ピレスパ®
- ムルプレタ®
- アシテア®
- グラッシュビスタ®
- Osphena®（Senshio®）



将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。